

## ▼レギュニール腹膜透析液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 【分類】 腹膜透析液

【単位】 ▼1.5・▼2.5▼4.25/LCa, HCa

【常用量】 1回 1.5～2.0L, 1日 3～4回

【用法】 4～8hr 貯留

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 通常, 使用しない (1)

【特徴】 緩衝剤を 10mEq/L 乳酸と 25mEq/L 重炭酸とした製剤。ダイアニールよりもアルカローシスに傾きにくくなる。Ca 濃度が 2.5mEq/L と 3.5mEq/L の製剤がある。

【主な副作用・毒性】 末梢性浮腫, 体重増加, 体液貯留, 顔面浮腫, 胸部不快感など

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【更新日】 20190704

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。